

日本共産党 長崎市議会議員

中西あつのぶ市政報告

活動ニュース VOL. 1



何でも無料生活相談実施中
E-mail:nakanishi@jcp-n.com
携帯電話：090-4909-3530
LINEのチャットもご利用ください



LINE



Twitter

ご意見、ご要望
お寄せください



あなたの願いを届けます

公約実現に全力

4月の市議会選挙後、最初の市議会が6月20日から7月7日の日程で行われました。

学校給食の無償化やこども医療費の完全無料化など子育て応援の願い前進へ、難聴者への補聴器購入助成や介護の負担軽減で高齢者が安心できるまちづくりを一平和と暮らし最優先の立場で公約を掲げました。公約実現に向けて6月議会で取り組んだことを紹介いたします。



鈴木市長「学校給食の無償化を強力に推進」

鈴木市長は初めての市政方針のなかで「**第二子以降の保育料無償化や小中学校の給食費無償化**をはじめとする子育て世帯の経済的負担軽減策や、場所や時間の切れ目のない子育て支援、課題を抱えるこども等への支援などを**強力に推進する**」と表明しました。

続けて、「その際、自治体間でバラツキがあることは望ましくないため、県や他の自治体とも連携しながら、国の制度として実施していくことを求めていく」と述べました。市長は一般質問での答弁で「**県市長会を通して国に要望していく**」と明らかにしました。

中西あつのぶ市議は、2月議会で憲法の規定に則り本市でも学校給食の無償化の実施を求めた際、他県の市長会のように長崎県市長会としての要望項目に「**学校給食の無償化(公費負担)**」を入れて、国に要望するよう求めていました。

学校給食無償化や第二子保育料の無償化は、鈴木市長が選挙公約で掲げた項目です。国への要望に留まらず、長崎市の事業として実施することが必要です。



物価高騰から暮らしを守るのは政治の責任です

補正予算で物価高騰対策として可決したもの

価格高騰重点支援給付金

電力・ガス・食料品等の価格が高騰している中、家計への影響が大きい住民税非課税世帯に給付金を支給。

○給付額：1世帯あたり3万円

○給付開始時期：8月から

◇家計急変で新たに非課税世帯相当の月収になった世帯は、申請が必要です。

- ▶ 太陽光・蓄電池の導入促進のための補助(各100件)
- ▶ トラック運送事業者への支援金(1台当たり普通車9万、軽自動車2万)
- ▶ 施設園芸に対する燃料費補助(110戸、1ℓ7円)
- ▶ 畜産配合飼料価格高騰への補助(23戸、1トンにつき200円)
- ▶ 漁業者への支援(211事業者、1ℓにつき7円)

松山陸上競技場の存続を！

長崎南北幹線道路の計画に伴う平和公園（西地区）の再整備では、松山グラウンドに市民プールを移転する案を長崎市は示してきました。

昨年11月市議会で陸上競技場の存続の請願が採択され、長崎市は、6月議会で幅広い視点から慎重丁寧な調査検討が求められているとして、補正予算で1,031万円を計上し、検討委員会の中に再検討部会を設置して、プールや陸上競技場などのスポーツ施設の再配置について再検討することとなりました。

再検討部会には、陸上・水泳の関係団体や地域活動団体の代表者などが加わり、検討委員会は来年の2月を目処に基本計画を策定します。

日本共産党市議団は、平和公園西地区の利用者が著しく不利益を受ける再配置案の撤回を求めてきました。引き続き、松山グラウンドの存続のために取り組みます。



どうする！？新たな文化施設の整備

公会堂に替わる新たな文化施設の整備をめぐるのは、この4月に基本計画が策定されたばかりです。しかし、市長は基本計画に明記されている基本設計の予算を6月市議会に計上することを見送りました。一般質問の答弁で、市長は、文化ホールの整備場所として旧市庁舎本館跡地が適地であるのか、まちのランドデザインを描く中で再度整理すると説明しました。文化芸術に関わる市民や団体から新たな文化ホールの早期整備はどうなるのか、これまで積み上げてきた議論はどうするのか戸惑いの声が上がっています。

日本共産党市議団は、整備見直しに当たっても市民の理解と合意が大前提となると指摘し、早期整備を強く求めました。

実現

産後ケア事業に訪問型が追加！！



産後ケア事業は、利用手続きの簡素化や利用期間の延長など見直しが必要でしたが、ショートステイとデイケアに加えて、新しくアウトリーチ（訪問）型が8月から開始されます。

また、利用者負担額の減免が一般世帯にも広がり、デイケアや訪問型は利用者負担がゼロになります。宿泊も1,500円で可能になります。

中西議員は1年半前の一般質問で「事業者や利用者のニーズも高く、すでに中核市の多くの自治体が行なっている」と産後ケア事業に訪問型を加えるよう要望し、長崎市は「検討する」と応じていました。

引き続き、産後ケアリストが実施するサービスも事業の対象にするなど産後ケア事業の充実を求めています。

6月市議会に提出された請願の賛否（○=賛成、×=反対）

	自民創 生	市民ク	公明	新出島 ク	ながさ き ミライ	維新	共産	結果
インボイス制度の実施延期を 求める意見書提出の請願	×	△（注）	×	×	×	×	○	不採択
ゆたかな学びの実現・教職員 定数改善をはかるための意見 書提出を求める請願	○	○	○	○	○	○	○	採択

（注）社民2名のみ請願に賛成

日本共産党 長崎市議会議員 中西あつのぶ

Japanese Communist Party

